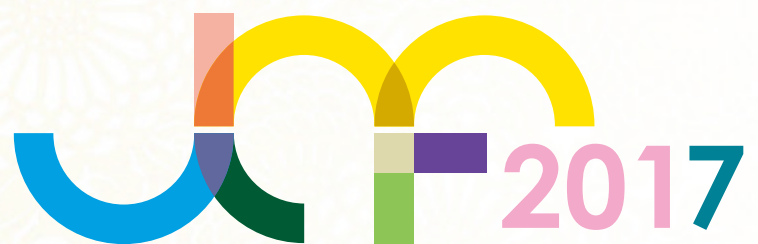




日本を代表する**がんの専門家**が
日本橋に大集結



ジャパンキャンサーフォーラム@日本橋

開催報告

SHIN 時代の幕開け

新
真 信

主催：認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

Japan Cancer Forum とは

私たちキャンサーネットジャパン (CNJ) は、1991 年、NIH (National Institutes of Health: 国立衛生研究所) 許可のもと、乳がん患者さん向けに 10 冊の冊子を翻訳・出版、そして無料配布をしたことに始まり、1995 年に NPO 法人化してからずっと、“がん”と診断された方や、そのご家族が病気を正しく理解したうえで治療に臨めるよう、科学的根拠に基づくがん情報を広く発信してきました。

現在、1991 年当初に比べると、がん患者さんやそのご家族が、容易に治療の情報を得られるようになってきている一方で、その情報は玉石混交で、本当に正しいのか、裏付けがなされた情報なのか判断できないという問題が出てきています。

では、何が本当に正しいのか、何を信じたら良いのか、どのように判断したらよいのでしょうか。私たちは、がんについて「知る・学ぶ・集う」ことが重要だと考えています。がんを「知り」、最新のがん医療や課題を「学ぶ」ことが重要であり、がん患者さん・ご家族・医療者、そして市民が「集う」ことで、勇気や希望が持てる場とするために、2014 年より本フォーラムを開催してきました。

第 1 回目のフォーラムは、2014 年、「AKIBA Cancer Forum」と題して秋葉原で開催しました。1,025 名の方にご参加頂き、好評だったことを受けて、2 年目はさらに規模を拡大、学会・関連 NPO 等とも連携し、5 大がんをはじめ、希少がんや在宅医療、遺伝、栄養など、60 講義を 72 名の講師にご登壇いただきました。2 年目も 1,414 名と 1 年目を上回る方々にご参加頂き、36 団体のサポートを得て無事盛況に終えることができました。

3 年目より場所を秋葉原から日本橋に移し、「Japan Cancer Forum (JCF)」と名前を変え、会期を 2 日間に延長、全国に向けてがん情報を発信しました。4 年目となる今年は「SHIN - 新・真・信-時代の幕開け」というテーマを掲げ、CNJ スタッフだけでなく、5 名のプログラム委員の先生方のご協力を得て、より時代に即した、また、より来場者の方々に「参加して良かった」と思っていたけるような企画を考えました。毎年、ここが来場者の方々にとって「知る・学ぶ・集う」ことの出来る拠り所になりましたら幸いです。

ご協力くださった皆様

※敬称略

【JCF2017 プログラム委員】(五十音順)

勝俣 範之 (日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科 教授)

川井 章 (国立がん研究センター 中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 科長／希少がんセンター長)

後藤 悌 (国立がん研究センター 中央病院 呼吸器内科／CNJ 理事)

藤原 康弘 (国立がん研究センター 中央病院 副院長／乳腺・腫瘍内科)

堀江 重郎 (順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学 教授)

【特別協力】株式会社コングレ／株式会社新産業文化創出研究所

【プログラム冊子広告】アッヴィ合同会社／株式会社医学書院／株式会社ウェルビー／金原出版株式会社／株式会社コルボ／株式会社ダイアナ／バイエル薬品株式会社／株式会社バル・オネスト

【共催】日本がん免疫学会／一般社団法人日本小児・血液がん学会／特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ／一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会

特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構／特定非営利活動法人 JORTC／特定非営利活動法人エンパワリング プレストキャンサー／特定非営利活動法人がんノート

一般社団法人キャンサーベアレンツ／中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会／特定非営利活動法人肺がん患者の会ワンステップ／ライフネット生命保険株式会社

慈航諾舟健康管理有限公司／特定非営利活動法人 希望の会

【JCF ウェブサイトバナー広告】アストラゼネカ株式会社／株式会社ウェルビー

【ブース出展企業】株式会社ウェルビー／株式会社クリニカル・トライアル／テルモ株式会社／日本イーライリリー株式会社／ネスレ日本株式会社／ラボコープ・ジャパン合同会社

【資料・サンプル配布】株式会社ウェルビー

【プログラム助成】「家族を看取ること 家族の心のケア」公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

【協力】株式会社資生堂／JAMMIN 合同会社／株式会社 STJ レンテック

【後援】厚生労働省／東京都／中央区

【協賛】一般社団法人 MDRT 日本会／アステラス製薬

LIVING WITH CANCER 協力者

【ゲスト出演】

7/18: 中島ナオ、古賀伸一郎、山崎多賀子、久光重貴、園田マイコ、行田泰明、多和田奈津子、岸田徹、中村あや

【ホスト】

ヘアメイク、撮影プロデュース: 蔵内健太郎 (資生堂 GIC 統括運営部)

撮影: 金澤正人 (資生堂宣伝・デザイン部)

撮影アシスタント: 杉浦希恵、内藤真由

メーキャップ: 横山加津子 (資生堂ライフクオリティビューティーセンター、以下同)、桜井奈緒美、西牧博子、澤田育代、山口裕子、澤田保子、青木昭子、苅部裕巳、青木和香恵

ヘアスタイリング: 来住南淳 (資生堂美容室、以下同)、久米久子、伊東裕子、伊藤文子、齋藤展子、西依昭枝、山本麻美、中熊暁子、高橋ゆうこ

会場受付、会場担当: 倉橋琢磨 (資生堂 GIC 統括運営部、以下同) 蔵内健太郎、平井純子、滝嶋世理 (電通、以下同、4CRP 局)、木村恵美子 (2 営)、天池真太郎 (オルファス)

会場モデレーター: 山崎多賀子 (美容ジャーナリスト)

アートディレクション: 河瀬太樹 (電通 PD 局)、今村浩 (たき工房)

インタビュー: 月村寛之 (電通 CDC、以下同)、中川真仁

PR: 松中権 (ミッションズ)

撮影コーディネーター、制作、機材、小道具: 橋本健次 (アマナ)

企画・運営・プロデュース: 月村寛之 (電通、以下同、CDC) 御園生泰明 (21 営)、河瀬太樹 (PD 局)、滝嶋世理 (4CRP 局)、今村浩 (たき工房)、松中権 (ミッションズ)、蔵内健太郎 (資生堂)

事前撮影出演者コーディネーター: 松原彩 (資生堂宣伝・デザイン部)、藤原麻子 (キャンサーネットジャパン、以下同)、古賀真美

インタビュー映像企画: 月村寛之 (電通 CDC、以下同)、中川真仁

インタビュー映像編集: 阿部香 (ソーダコミュニケーション、以下同)、橋根哉、中川実及梨、嶋岡伸彰 (cima)

会場 BGM 選曲: 福島節 (オンガクシツ、以下同)、谷口亮介

ポスター出力: 山中悠貴 (トーンアップ)

Japan Cancer Forum 2017 開催概要、収支報告

■開催概要

開催日程：2017年8月19日（土）、20日（日）の2日間

プログラム数：54（LIVING WITH CANCER

MAKEUP&PHOTO、レモネードスタンド含む）

参加者：2,006名

開催会場：のべ13会場（コンgresクエア日本橋2・3階部分）

無償でご登壇頂いた講師陣：総勢96名

運営CNJ及びボランティアスタッフ：180名

各プログラム参加者合計数：4,905名

■収支報告

※ Japan Cancer Forum 2017 は、講師・司会の皆さま、運営ボランティアの皆さまが無償でご協力くださったことにより、今年度も開催することができました。講師・司会・運営ボランティアの皆さまへ、この場を借りて御礼申し上げます。

収入の部

項 目	金 額	摘 要
参加費	93,000	入場料無料（第7会場の参加費 3,000 円× 31 名分）
共催費	2,704,320	14 団体
広告費	1,436,400	10 社
ブース出展費	1,468,800	6 社
資料・サンプル配布	216,000	1 社
プログラム助成	300,000	勇美記念財団
寄付等	2,211,600	事前・当日寄付（レモネードスタンド寄付を含む）、チャリティーアイテム、協賛金
自己資金	3,902,339	
（収入 計）	12,332,459	

支出の部

項 目	金 額	摘 要
1. 事前準備関係費	7,491,467	
事前準備関係費	5,600,000	事前準備スタッフ14名（常勤・パート含む）関係費
プログラム関係費	600,480	特設サイト制作、サーバー、アップデート作業等
プログラム調整費	25,000	コンテンツ事前打合せ会議費、交通費等
通信費	447,716	メール便、資料発送費
広報費	818,271	フライヤー、ポスター制作、印刷、チャリティーアイテム制作費等
2. 当日運営関係費	3,606,172	
会場関係費	2,401,940	会場費、機材、照明、看板、展示設営費
運営関係費	816,004	当日運営・スチール撮影スタッフ人件費、宿泊費、交通費等
飲食関係費	347,848	当日講師・運営スタッフ弁当、講師飲料他
謝礼金※	0	
諸雑費	40,380	振り込み手数料、ボランティア保険
3. 事後処理費	1,234,820	収録動画編集公開、報告冊子作成等
（支出 計）	12,332,459	



岩瀬 哲（いわせ さとる）

認定NPO法人
 キャンサーネットジャパン理事長
 埼玉医科大学附属病院 緩和医療科
 教授

我々キャンサーネットジャパンは患者・家族をはじめ、医療に関わる全ての人のがん医療に関する正しい情報を届けるため、年に1度の本企画（JCF…ジャパンキャンサーフォーラム）を2014年より開催してきました。昨年より日本橋に開催場所を移し、2日間、今年も盛会のうちに終了することが出来ました。これもひとえに、ご協力くださった皆様、ご参加くださった皆様のお陰と感謝しております。無償でご登壇くださった96名の講師・司会の皆様、プログラム共催やブース出展、広告協賛等でご支援くださった企業・団体の皆様、準備から当日まで裏方で頑張ってくださいましたボランティアを含む180名のスタッフ、そして、JCFにご参加くださった2006名の皆様に心より御礼申し上げます。来年はいよいよJCFも5周年となります。8月11日（土）、12日（日）の2日間、国立がん研究センター中央病院に場所を移し、開催致します。ぜひ、皆様お誘いあわせの上、ご来場ください。また来年も、皆様にお目にかかれまことを楽しみにしております。

8月19日(土)【1日目】

		2F		3F				
時間	会場名	第1会場(ホールA)	第2会場(ホールB)	第3会場(ホールC)	第4会場(ホール D)	第5会場(ルームA1)	第6会場(ルームB)	第7会場(ルームC)
10:20-10:50		オープニングセッション これから「がん」を 学ぶあなたへ 入門編 石黒 めぐみ 先生 東京医科歯科大学						
11:00-12:00		大腸がんは 増えています！ 今、「何が出来るのか？」、 「何をすべきか？」 朴 成和先生 国立がん研究センター中央病院	Over Cancer Together サバイバーの声を 聴こう	※3 JGOG 共催 進行卵巣がんの 全てがわかる！ 加藤 一喜 先生 がん研有明病院	前立腺がん 外科治療の進歩と 薬物療法 松下一仁先生 (手術) 聖路加国際病院 赤倉 功一郎先生 (薬物療法) JCHO 東京新宿メディカルセンター	※5 アスベスト患者と家族の会共催 中皮腫患者さんと ご家族のケア 長松 康子先生 聖路加国際大学	臨床試験の見つけ方 がん情報サービスの 活用方法と検索ポイント 柴田 大朗先生 国立がん研究センター中央病院	10:30-12:00 よろず相談室 ～肺がん患者さん～ 後藤 伸先生
12:30-13:30		すい臓がんは長く 付き合えるがんになった？ すい臓がんの最新情報 古瀬 純司先生 杏林大学		がん治療中の 口腔ケアで 副作用・合併症を 予防する 百花草 健志志先生 静岡県立静岡がんセンター	公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団 助成 家族を看取ること 家族の心のケア 佐々木 淳先生 医療法人社団悠翔会 轟 浩美さん 浪瀬 耕造さん	頭頸部がんの 最新治療 岡野 晋先生 国立がん研究センター東病院	※6 JSCS 共催 悪性黒色腫の 最新治療と今後の展望 山崎 直也先生 国立がん研究センター中央病院	12:15-13:30 精巣腫瘍患者の 家族（親・パートナー） の相談会 改發 厚さん 精巣腫瘍患者友の会 (J-TAG)
14:00-15:00		肺がん最新の治療 2017 後藤 伸先生 国立がん研究センター中央病院	※2 ライフネット共催 がんと就労 岩瀬 大輔さん ライフネット生命保険株式会社 功能 聡子さん ARUN 合同会社	※4 JORTC 共催 知ってトクする！ 緩和ケア 里見 絵理子先生 国立がん研究センター中央病院	肝臓がんの 外科治療と薬物療法 國土 典宏先生 国立国際医療研究センター 池田 公史先生 国立がん研究センター東病院	悪性骨軟部腫瘍 (肉腫) 適切な診断と治療 川井 章先生 国立がん研究センター中央病院	※3 JGOG 共催 子宮頸がん 異形成から浸潤がん まで その診断・治療 仲村 勝先生 慶應義塾大学病院	13:45-15:00 よろず相談室 ～皮膚がん/ 悪性黒色腫患者さん～ 山崎 直也先生
15:30-16:30		※1 ワンステップ共催 是か非か！ 免疫チェックポイント を途中でやめる 臨床試験 後藤 伸先生	BEC／CIN は 全国のサバイバーの ミカタです！ BEC/CIN5 人の認定者 の皆さんからの活動報告	慈航諾舟健康管理 有限公司共催 中国のがん事情 徐 彦平さん 慈航諾舟健康管理有限公司	がんのリハビリテーションって 知ってますか がんリハを知って QOL を改善 辻 哲也先生 慶應義塾大学病院	※3 JGOG 共催 甲状腺がんの最新の 診断と治療について 杉谷 巖先生 日本医科大学付属病院	※3 JGOG 共催 子宮体がん 安心して治療を受ける ために 本橋 卓先生 市立四日市病院	15:15-16:30 よろず相談室 ～もう治療法が無い と言われたあなたへ～ 岩瀬 哲先生 東京大学医学部研究所附属病院

展示ブース

今年も、患者会、患者支援団体、企業など 37 団体の皆さんにブース出展いただきました。多くの来場者の方が、各ブースに立ち寄られ、個別相談をしたり、ハンドマッサージを受けたり、啓発グッズを購入されたり、試食をされたりしていらっしゃいました。患者会の皆さんからパワーをもらった方も多いのではないのでしょうか？また、さまざまながん種の患者会が一堂に会する JCF では、普段はあまり接点のない異なるがん種の患者会同士も交流が持てる機会となったことと思います。JCF が、がん患者支援活動の一助になれば幸いです。

以下、リンパ浮腫サポートネットワーク～リンパカフェ～感想より相談会を行うということで、机を広めに使わせていただき相談会をスムーズに行うことができました。250 名の方にチラシを配布し、54 名の方の相談にのることができました。まだまだ不足しているリンパ浮腫の正しい情報を発信できるように、これからも頑張りたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



レモネードスタンド

今年の JCF レモネードスタンドは、元気な高校生、大学生の皆さん、小さなお子さん、見守ってくださった大人の方、多くの方々のおかげで開催できました！そして、レモネードスタンドに立ち寄ってくださった皆さま、ありがとうございました！

会場内のさまざまな場所で、大きな声で、レモネードスタンドの活動を広めていただき、興味を持って足を止めてくださった方も多く、そのおかげで、2 日間で約 1,000 杯を配布し、集まった寄付は 221,642 円になりました！

これからも少しずつ、レモネードスタンドの活動を広めていきます！



8月20日(日)【2日目】

		2F		3F					
時間	会場名	第1会場(ホールA)	第2会場(ホールB)	第3会場(ホールC)	第4会場(ホールD)	第5会場(ルームA1)	第6会場(ルームB)	第7会場(ルームC)	
10:30-11:30		今年注目の乳がんの薬物療法、 新たな治療とは 中村 清吾先生 昭和大学		食道がん、 多様な治療法 大幸 宏幸先生 国立がん研究センター中央病院	漢方で副作用を 上手にコントロール 上園 保仁先生 国立がん研究センター研究所	腎がんの最新治療 近藤 恒徳先生 東京女子医科大学病院	胆道がん治療最前線 奥坂 拓志先生 国立がん研究センター中央病院	10:30-11:45 よろず相談室 ～婦人科がん 患者さん～ 勝俣 範之先生	
12:00-13:00		日本がん免疫学会共催 免疫療法～免疫チェックポイント阻害剤（薬）の 働き方・効能について～ 北野 滋久先生 国立がん研究センター中央病院		胃がん治療 ～手術治療を中心に～ 寺島 雅典先生 静岡県立静岡がんセンター	定年後のがんとお金 60～65歳、年金を 貰えるまで5年間、 どう過ごす？ 石田 周平先生 がんと暮らしを考える会	※10 JCCG 共催 小児がんについて 急性骨髄性白血病 富澤 大輔先生 国立成育医療研究センター 悪性リンパ腫 小林 良二先生 札幌北病院 神経芽腫 米田 光宏先生 大阪市立総合医療センター	血液がん 分子標的薬のヒミツ 木村晋也 先生 佐賀大学医学部附属病院 抗がん剤治療と 免疫チェックポイント阻害剤のしくみ 伊豆津宏二 先生 国立がん研究センター中央病院 見て聴いて理解する 最新の放射線治療 小口正彦 先生 がん研有明病院 新しい薬はどうやってできるの？ 木村晋也 先生	12:15-13:45 若年性乳がん患者の 治療と妊孕性の問題 北野 敦子 聖路加国際大学	
13:30-14:30		「がんが絶対治る?」「これでがんが治った?」 あやしい治療に気をつけろ！ 勝俣 範之先生 日本医科大学武蔵小杉病院		※9 E-BeC 共催 これからの乳房再建 岩平 佳子先生 プレストサージャリークリニック	おひとりさまが がんになったときの 心構え 川越 厚 先生 医療法人社団バリアンクリニック川越	※11 日本小児血液・がん学会共催 小児がん・AYA がんの 長期フォローアップの問題点と対策 前田 美穂先生 日本医科大学	14:00-15:15 よろず相談室 ～小児がん(脳腫瘍)・ AYA 世代の 患者さん・ご家族～ 寺島 慶太先生(脳腫瘍) 前田 美穂先生 (AYA 世代)		
15:00-16:00		※7 がんノート & キャンサーペアレンツ 共催 働く世代のがんと家族 ～子ども・親・パートナーとの関わり～ インターネットLIVE 配信も！ 岸田 徹さん 西口 洋平さん NPO法人がんノート 一般社団法人キャンサーペアレンツ		遺伝性腫瘍・家族性腫瘍 がんの遺伝性・家族性を 知ることは、自分や家族を 守ることにつながります 田辺 真彦先生 杏雲堂病院	がんと糖尿病 実は密接な関係が あります！ 岩岡 秀明 先生 船橋市立医療センター	「喫煙者は気を付けて！」 膀胱がんを見逃さない 最新情報 武藤 智先生 帝京大学	※12 希望の会共催 スキルズ胃がん 納得して治療を 選択していくために 浜本 康夫先生 慶應義塾大学病院	15:30-16:15 よろず相談室 ～原発不明がん 患者さん～ 勝俣 範之先生	
16:30-17:30		クロージングセッション 「SHIN・新、真、信・時代の幕開け」 パネリスト： 藤原 康弘先生 国立がん研究センター中央病院 勝俣 範之先生 日本医科大学武蔵小杉病院 樋野 興夫先生 順天堂大学		※1 ワンステップ：特定非営利活動法人肺がん患者の会ワンステップ ※2 ライフネット：ライフネット生命保険株式会社 ※3 JGOG：特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構 ※4 JORTC：特定非営利活動法人 JORTC ※5 アスベスト患者と家族の会：中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 ※6 JSCS：一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会			※7 がんノート：特定非営利活動法人がんノート ※8 キャンサーペアレンツ：一般社団法人キャンサーペアレンツ ※9 E-BeC：特定非営利活動法人エンパワリング プレストキャンサー／E-BeC ※10 JCCG：特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ ※11 小児血液・がん学会：一般社団法人日本小児血液・がん学会 ※12 希望の会：特定非営利活動法人 希望の会		

LIVING WITH CANCER MAKEUP&PHOTO supported by SHISEIDO

今年、会場 2F のホワイエでは、メイクアップ&フォトプログラムを株式会社資生堂の協力により開催しました。

このプログラムは「がんになっても自分らしくイキイキと暮らしている人が沢山いる。がんになったら何もできないのでは?というイメージを変えたい」というキャンサーサバイバーたちの思いから企画されました。この企画趣旨に賛同した 93 名の方からお申し込みいただき、15 名のモデルを選考しました。

また、当日も両日共に 23 名ずつ様々ながん種のサバイバーにご参加いただき、最終的に 2 日間で 61 名のキャンサーサバイバーにメイクアップとヘアメイク、そして撮影をしました。撮影は資生堂を代表するフォトグラファーズの金澤正人氏が担当されました。

そしてその場で撮影した写真にモデル自身が熱中していることを書いて、ポスターに仕上げていきます。参加者からは、「プロの方に顔や髪の毛をメイクアップしていただき、乗せ上手なカメラマンに素敵な写真を撮って頂き、最高の気分でした。」「とても素敵な思い出と素敵な写真を撮って頂きありがとうございました。写真は大切に飾らせてもらいます。」「人生を楽しもうと思っているのが、自分だけじゃないんだとわかってとてもよかった。」との感想をいただきました。

会場には、撮影されたモデルさんたちのポスターが次々と貼られていき、会場の壁を彩りました。



Prorgam Pick UP

オープニングセッション

JCF は、がんの最新情報・正しい情報を各領域の専門家の先生方が講演されるため、そのスライドの中には専門用語が出てきたりと、難しく感じられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで、今年初の試みとして、各会場のプログラムを聴講する前に、知っておくと便利な基礎知識を「超入門編」として、東京医科歯科大学の石黒めぐみ先生にご講演いただきました。

「これから『がん』を学ぶあなたへ～『がん』の基礎知識・超入門編～」と題して、がんとはどういったものなのか、日本におけるがんの推移、3大治療（手術・化学療法・放射線治療）とは何か、がん種によって性格も治療も異なること、同じ臓器のがんであっても進行具合によって治療法が異なること、標準治療とはなにか、科学的評価とは、など、詳しくそして大変分かりやすく解説していただきました。参加された皆さんからは、「これからの様々なプログラムを聞く前の情報としてとても良かったです。」「整理して考えるには良い。分かりやすい情報でした。」「これからの患者さんへの説明に役立て正しい情報を伝える確認ができた」など、感想をいただきました。



婦人科がんのプログラム

婦人科がんのプログラムは、NPO 法人婦人科悪性腫瘍研究機構との共催で開催しました。卵巣がんについては、がん研究会有明病院の加藤一喜先生、子宮頸がんは、慶應大学病院の仲村勝先生、子宮体がんは市立四日市病院の本橋卓先生より、大変分かりやすく解説いただきました。検診から検査、診断と腹腔鏡を含む手術方法、抗がん剤治療について等、アメリカ臨床腫瘍学会で発表された最新の情報も含め、患者さんやご家族に役立つ情報をお届けできたと思います。各プログラムの後半に設けた質疑応答の時間でも多くの質問が寄せられました。



スキルス胃がんプログラム

NPO 法人希望の会との共催にて、昨年に続き「スキルス胃がん」に特化したプログラムを開催することができました。希望の会理事長の轟浩美さんは、このプログラムへの想いと、体験を交えたコメントを織り交ぜた司会をしてくださいました。慶應大学病院の浜本康夫先生のお話は冒頭に「正しいことを伝えることは、患者さんの希望になる場合もあるが、聞きたくなかったと言われることもある。しかし、正しい情報を知り、納得して治療を受けることが大切」と話されました。参加者が頷きながら真剣な眼差しで聴き入っていた様子が印象的でした。罹患者数が少ない疾患は、この場が仲間と繋がるきっかけになるので大変貴重だと改めて感じたプログラムでした。



血液がんのプログラム

今回の血液がんのプログラムでは、白血病やリンパ腫などの疾患名別ではなく、血液がんにおける分子標的薬、化学療法・免疫療法、放射線療法、臨床試験など、治療法別の最新情報を、佐賀大学病院の木村晋也先生、国立がん研究センター中央病院の伊豆津宏二先生、がん研有明病院の小口正彦先生より詳しくお話しいただきました。参加された方からは「前向きな気持ちになれる情報が得られた」、「血液がんについて全体像をとらえることができた」などの感想がありました。



少人数プログラム

第7会場では、限定10人程度の少人数プログラムを今年初めて開催し、参加者からのご相談を講師の先生方に直接ご回答いただきました。本プログラムは、セカンドオピニオンとは違って複数人数での相談ですが、共通した話題も多く、また、同じ悩みをもつ仲間がいることでご参加された方も心強く感じ、励まされるというピアサポート的な意義もあり、「今まで聞きたかった事を簡潔に教えて下さり安心しました。」「貴重な時間をありがとうございました。結果はやはり厳しいものでしたが、皆さんのお話など伺ってあきらめずに頑張りたいと思います。」などのご意見をいただきました。皆さん、とても満足された顔で会場を後にされる様子が印象的でした。



クロージングセッション

「SHIN ～新・真・信～時代の幕開け」と題し、がん医療の3つのテーマ「最新（がんのゲノム解析・プレジジョンメディシン）」「真実（巷に溢れるがん情報の中から真実の情報を見分ける）」「信念（がんになってもその人らしく生きる）」について先生方からお話を伺い、皆でがん医療のSHIN時代について考えました。司会は、CNJ理事の後藤悌と、希望の会理事長の轟浩美さん。轟さんは、ご主人を昨夏のJCF開催中に亡くされ、患者家族・遺族の立場で司会をしてくださいました。藤原康弘先生からは、「多種のゲノム情報に基づく診断・治療が日常診療に入ってくるのはもうすぐです。でも、万能ではありませんし高額です。そして、遺伝性疾患の告知を受けるかどうかの判断をするという悩みも増えます。」と、最新情報についてお話がありました。勝俣範之先生からは、がん患者を食物にするインテグレーション治療の見極め方として、「①保険が効かない医療（自費診療）②体験談が載せられている③先進医療に指定されていない」と、見分けるコツをいただきました。樋野興夫先生からは、「がんは怖い病気から、共存する時代になった」と、がんになった後の心の在り方『がん哲学』についてお話をいただきました。「人生に期待するのではなく、人生から期待される人になること」という言葉が印象的でした。最後に、「真実を受け入れることは諦めることではない。視野を広げることだ。」と、司会の轟さんからは力強いメッセージをいただきました。



JCF2017 ご意見・ご感想

★たくさんのご意見をいただきましてありがとうございました★

●参加者の声

- ★初めて参加しましたが、とても良かったです。再発治療中ですが、明るい希望が見えました。
- ★有意義なプログラムがたくさんあり、どれを選んで話を聞こうか迷ってしまいます。
- ★今回初参加。学会からCNJを知りました。正しい情報をタイムリーに発信されていて、学ぶことが多いです。これからも活動を期待しています。
- ★CNJの動画は豊富にあり、内容もとてもわかりやすいので看護師である自分の勉強や情報収集のためだけでなく患者さんへの指導にも使えるので助かっています。
- ★レベルが高い、スケールの大きい、有用な情報の多い、とても良いフォーラムを開催して頂き感謝します。
- ★初めての参加でしたが、とても心うたれました。患者様、サバイバーの方々が自分達でもここが変えられる、より良くできると奮闘されている姿を見て、医療従事者としても皆様に還元できるものを調整しないと・・・と思いました。医療現場が変わらねばならないことの多数あります。サバイバーの皆様の努力や正しい情報を集めようとするのをサポートしていく責任を病院全体で全うする必要があると感じました。医療現場から変えられるものは変えていこうと思います。共に頑張りましょう。
- ★とても気楽に参加しやすいので、もっと大きな会場でいろんなトピックスの講演会を開いてほしい。とても良かったです。ありがとうございました。
- ★今回、初めて参加しましたが、色々な関連した商品も沢山ある事を知りました。サンプルもあり頂いたので、早速試してみたいと思います。自分の病気について知識も増え、前向きに治療をして行こうという気持ちになりました。

●講師の声

- ★もっともっと患者さんたちとお話がしたいし、多くの先生と本音で話す機会が頻繁にあるとよいと思います。地道な活動を続けていきます。
- ★現在、「妊孕性温存」については広く認知されてきましたが、「いつ妊娠するか」という問題に関してはまだまだ十分な話し合いができていない状況ではないと思います。ご参加されたお一人お一人の悩みを拝聴し、今後どのような情報提供が必要かを考えるきっかけになりました。ありがとうございました。
- ★情報が錯綜する昨今、非常に重要な活動です。大変な業務だったと思いますが、引き続き活動を続けていただければ、うれしいです。

●共催・協業団体の声

- ★まずは、無事にかつ大盛況で終えることができたこと、本当にお疲れさまでした！いくつかセッションに参加させていただいたのですが、率直に素晴らしいイベントだと思います！そんなイベントの中で当社のセッションに115名の方に参加いただけたとのこと、大変嬉しく思います。ありがとうございました。
- ★とても多くのがん患者さんや医療に携わってくださっている方が感心をもって来場してくださって、お話をしてくださったり、させていただいたり、2日間いろいろな方と交流させていただきました。数千人規模のイベントは企画、準備、運営等本当にご苦労が多いと思いますが、患者さんや私たちにとって本当にありがたいものです。ぜひ今後とも開催していただきたいと願っています。

●ボランティアの声

- ★お疲れさまでした。今年も楽しくボランティア活動ができました。
- ★いろいろな学ぶことができたり、いろいろな人と出会うことができたりと、とても充実した2日間でした。なかなか経験できない事を体験させていただいて、いろいろな思いや考え、学びを得る事ができたと思っています。
- ★キャンサーフォーラム2017の大盛況、おめでとうございます。2日目はおひとりさま、のセッションに参加させていただきました。来年も必要な人に必要な情報が届く貴重な機会がありますことを祈っております。ありがとうございました。

ありがとう! 5周年!!



ジャパンキャンサーフォーラム@築地

2018年

8月11日(土)・12日(日)

会場: 国立がん研究センター中央病院

- | | |
|--------------|------------------|
| ■ 都営地下鉄 大江戸線 | 築地市場駅A3番出口から徒歩3分 |
| ■ 東京メトロ 日比谷線 | 築地駅2番出口から徒歩5分 |
| ■ 東京メトロ 日比谷線 | 東銀座駅6番出口から徒歩5分 |
| ■ 都営地下鉄 浅草線 | |

<http://www.cancernet.jp/jcf>

ジャパンキャンサーフォーラム

検索



編集発行/認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン 発行月/2017年10月
住所/〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F
ホームページ/ <http://www.cancernet.jp/>

TEL / 03-5840-6072 FAX / 03-5840-6073 E-Mail / info@cancernet.jp